

(19) 建築学教育における授業モデルの検討

建築学教育FD/ICT活用研究委員会は、6月、9月、11月、23年3月の4回開催した。

設計、構造、設備、環境を総合的にとらえることができる能力を目指すために、科目横断型の学びを実現する授業デザインなど2例とりあげることにした。

一つは、利用者に建築の設計を分かりやすく説明することができるよう、構造、設備、環境などの異なる分野で情報を体系化・可視化し、問題発見・解決に協同で取り組むコラボレーションの授業モデルとした。

二つは、構造計算の妥当性を判断できる能力を身に付けさせるために、簡単な構造計算を手計算で行い、コンピュータ解析の結果と比較・検討させることで、算結果を鵜呑みにしない信頼性の基礎を身に付けさせる授業モデルとした。